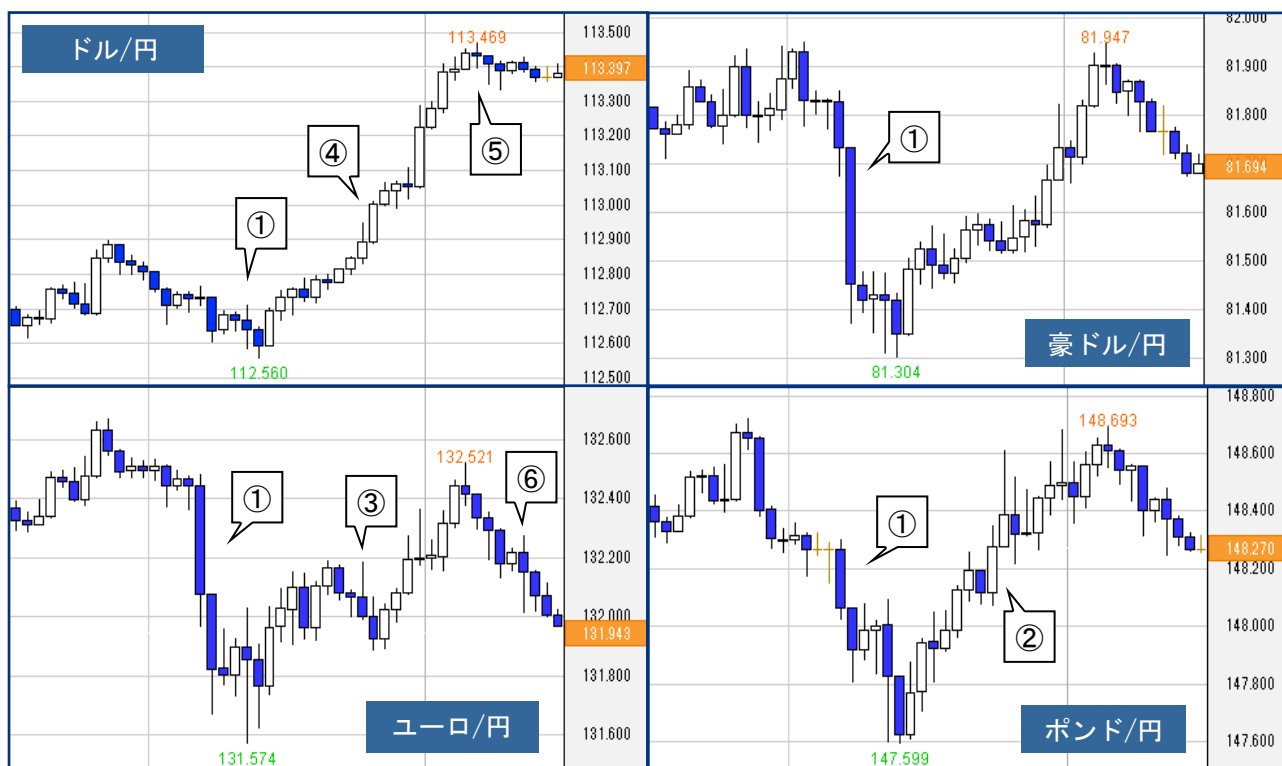


9月28日(金曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

ドル/円、年初来高値更新で上値追求

27日(木)の為替相場



期間 27日(木)午前6時10分~28日(金)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所:外為どっとコム

①	「イタリア連立政権が19年度予算案に関する会合を延期する」との一部報道が伝わると、イタリアの財政協議に対する不透明感を背景にユーロ/円が下落した。他のクロス円も連れて値を下げたが、ドル/円はユーロ/ドルでユーロ売り・ドル買いが強まった影響で値幅は限られた。
②	ホールデン英中銀金融政策委員会(MPC)委員が講演で「現在のペースでの英成長には利上げを必要とする」と発言したことを受けてポンドが強含んだ。
③	独9月消費者物価指数・速報値が前年比+2.3%と市場予想(+2.0%)を上回り、前回(予想と同じ)から伸びが加速した。
④	米4-6月期国内総生産(GDP)・確定値は前期比年率+4.2%と予想通りとなり、改定値から変化はなかった。同時発表の米8月耐久財受注額は前月比+4.5%と予想(+2.0%)を上回り、前月(-1.7%)から大幅な増加に転じたが、変動率の大きい輸送機器を除いた受注額は+0.1%と予想(+0.4%)を小幅に下回った。また、米新規失業保険申請件数は21.4万件と予想(21.0万件)を下回り、前回(20.2万件)から悪化した。
⑤	欧米株や日経平均先物が上昇した他、米10年債利回りが上昇するとドル買い・円売りが強まり、ドル/円は113.40円台まで上昇して昨年12月以来約9カ月ぶりの高値を付けた。
⑥	「イタリア連立政権が2019年財政赤字目標を対GDP比で2.4%にすることで合意した」との報道が伝わった。

27日(木)の株・債券・商品市場

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
23796.74 ▼237.05	6181.215 ▼11.061	2791.775 ▼15.038	7545.44 △33.95	12435.59 △49.70
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
26439.93 △54.65	0.1200% ▼0.0060	2.688% ▼0.045	1.598% △0.005	0.529% △0.003
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.8269% △0.0122	3.0518% △0.0038	72.12 △0.55	1187.40 ▼11.70	

外為注文情報(ドル/円)



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	112.800-113.800	131.200-132.600	81.200-82.200	147.500-148.900

【ドル/円】

昨日のドル/円は年初来高値を更新する堅調な展開だった。NY市場に入るとドル全面高の流れに沿って昨年12月以来約9カ月ぶりに113.40円台まで上昇した。四半期末の接近にともない実需のドル買いが入ったとの観測もあったが、前日の米連邦公開市場委員会(FOMC)後の動きを考えると「意外高」とも言える展開だろう。そうした上昇の背景はともかく、チャート上の節目を突破した事で上値追及ムードが高まりやすくなったと考えられる。なお、第4四半期(10-12月)のドル/円は2012年以来昨年まで6年続けて上昇しており、アノマリー的にもドル高が進みやすいシーズンに入る。第3四半期(7-9月期)最終日の本日の着地点にも注目したい。

執筆者: 神田

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
9/28(金)	16:55	○	(独) 9月失業者数(前月比)	-0.8万人	-0.9万人
	16:55	○	(独) 9月失業率	5.2%	5.2%
	17:30		(英) 4-6月期経常収支	-177億GBP	-194億GBP
	17:30	○	(英) 4-6月期GDP・改定値(前年比)	+1.3%	+1.3%
	18:00	○	(ユーロ圏) 9月消費者物価指数(HICP)・速報値(前年比)	+2.0%	+2.1%
	21:30	○	(米) 8月個人消費支出(前月比)	+0.4%	+0.3%
	21:30	◎	(米) 8月コアPCEデフレーター(前年比)	+0.2%	+0.1%
	21:30		(米) バーキン・リッチモンド連銀総裁、講演	-	-
	21:35		(ユーロ圏) プラートECB理事、講演	-	-
	22:45		(米) 9月シカゴ購買部協会景気指数	63.6	62.0
	23:00		(米) 9月ミシガン大学消費者信頼感指数・確報値	100.8	100.5
	29:45		(米) ウィリアムズ・NY連銀総裁、講演	-	-

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com